



新年のご挨拶



町より



肝付町長
永野 和行

新年明けましておめでとう
ございます。町民の皆様には、
清々しく新春をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。旧年
中は、町政の運営に対しご理
解とご協力を賜り、厚くお礼
申し上げます。

さて、昨年を振り返ります
と、2月の岩手県・大船渡市
山林火災や8月の九州豪雨な
ど、大規模な自然災害が相次
ぎました。このような災害を
踏まえ、町では相互扶助の精
神で、銀河連邦友好都市であ
る大船渡市へ見舞金を贈り、
九州豪雨では霧島市へ給水車
を派遣するなど被災地に寄り
添う支援を行ってまいりまし
た。また、11月には波見地区
で南海トラフ地震を想定した
津波避難訓練を行うなど、地
域の防災意識向上にも努めて

いるところでございます。

肝付町は合併から20年の節
目を迎えました。合併当初
1万8000人だった人口は
現在1万3256人となり、
2050年には7500人に
減少すると推計されていま
す。この現状を打破すべく、
「ピンチをチャンスに」の言
葉を胸に、外貨を稼ぎ、雇用
を生み出す仕組みづくりとし
て、地域商社を設立し、農畜
産物・海産物のブラッシュ
アップを図っています。

また、地域の公共交通を維
持すべく、高齢者の移動支
援策として開始した「おで
かけタクシー」は、今や約
1300人が通院や買い物な
どに利用いただいております。
今後も人口減少抑制に向
けた政策に取り組み、町民の

皆さんが安心して暮らせる環
境を整備してまいります。

そして、肝付町はロケット
のまちであり、ロケットと共
に歩んでまいりました。内之
浦宇宙空間観測所ではイプシ
ロンSロケットの打ち上げが
予定されており、年間3〜4
基の実施が実現すれば観光や
交流人口の増加が期待されま
す。そのためにも、「宇宙産
業に関わる人材育成に関する
包括連携協定」を締結した県
内外の大学などと連携し、宇
宙人材育成の拠点化を進め、
宇宙関連教育の発展を図っ
て、夢や希望を持てるまちづ
くりに進進してまいります。

本年が皆様にとりまして希
望に満ちた一年となりますよ
う心よりお祈り申し上げます。

議会より



肝付町議会
議長
有留 智哉

新年あけましておめでとう
ございます。

町民の皆様には、健やかに
新春をお迎えのことと、心よ
りお慶び申し上げます。また、
日頃より肝付町議会の活動並
びに町政全般に対し、深いご
理解と温かいご協力を賜って
おりますことに、議会を代表
し厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は内之浦町と高
山町が合併し、肝付町が誕生
してから二十年という大きな
節目の年を迎えました。この
二十年間、社会情勢や生活環
境は大きく変化し、時代は確
実に前へと進んでまいりまし
た。二十年という歳月は、人
に例えれば二十歳を迎え、自
立への一步を踏み出す時期に
あたります。

皆様は、この二十年の歩み
をどのように振り返られるで

しょうか。

肝付町もまた、町民の皆様
に支えられながら、多くの経
験と知恵を積み重ねてきた
二十年であったと感じており
ます。

一方で、時代がどれほど進
もうとも、守るべきもの、そ
して大切にしていかなければ
ならないものは変わりませ
ん。地域に受け継がれてきた
歴史や文化、豊かな自然、そ
して人と人とのつながりは、
肝付町の根幹を成すもので
す。これらのかけがえのない
財産を、次の世代へどのよう
に引き継いでいくのか。それ
は、今を生きる私たち一人ひ
とりに課せられた大切な責任
であります。

現在、物価高騰の長期化や
少子高齢化、人口減少など、
町を取り巻く環境は依然とし

て厳しい状況にあります。町
議会といたしましては、皆様
の声を真摯に受け止め、生活
支援や地域振興、防災対策な
どについて、引き続き議論を
重ねてまいります。

本年を新たな出発点と捉
え、時代の変化に的確に対応
するとともに、守るべき価値
を大切にしながら、「開かれ
た議会」「信頼される議会」
を目指し、町民に寄り添った
議会活動に全力で取り組んで
まいります。

結びに、町民の皆様にとり
まして本年が希望に満ちた実
り多い一年となりますこと、
そして肝付町がこれからも力
強く、住みやすい町として歩
み続けることを心より祈念申
し上げ、新年のご挨拶といた
します。



謹賀新年



教育委員会より



肝付町教育委員会 教育長 木村政文

新年明けましておめでとう
ございます。
昨年は、本町の学校教育、
生涯学習にご支援いただき誠
にありがとうございました。
お陰様で、本町の教育は次の
ステージに向けて実に前進し
ております。
令和7年度から本町の教育
の理念を「承継創造」とし、「個
別最適な学びと協働的な学び
の創造」「歴史・伝統・自然・
記憶の承継」を柱に、学校教育、
生涯学習を進めて参りました。
学校教育では、挨拶などの
生活指導を基盤に、個別の学
びに対応したA-I教材（キュ
ビナ）の全小中義務教育学校
への導入、宇宙教材や生成A
I実証事業（TBSとの連携）、
特別支援教材リタリコなどを
モデル校で導入するなど先進
的な取り組みを進めました。

また、生涯学習では、長
寿大学をより一層充実したシ
ニアカレッジの開講、誰もが
参加しやすいとなったスポーツ
フェスタや町総合文化祭の開
催、子どもゲーム大会などの
実施、国指定天然記念物「塚
崎のクス」周辺整備、さらに
伝統文化・芸能の承継などを
進めました。
さて、本町の教育のキーワー
ドは「イノベーション」です。
これは、単なる発明ではなく
「生み出された技術を社会に広
め、価値を創造すること」を
指します。教育にイノベーショ
ンを起こすには、イノベーター
（革新者や新しいものを生み出
す人）を育てなければなりま
せん。これは、21世紀に求め
られる教育の肝であり、本町
の教育にも必要なことです。
知識は必要ですが、これま

での学校教育では世の中の急
激な変化に対応しきれなく
なっています。知識を詰め込
むだけでは、子どもたちは試
験にパスする方法は身に付い
ても、学習意欲や応用の効く
スキルを身に付けることが難
しい現状があります。
令和8年の本町の教育は「自
分は何を知っているかよりも、
自分が知っていることで何が
やれるのか」を大切にすること
で、学校教育が生涯学習に
も繋がるシームレスな教育を
実現できればと思っています。
承継創造の理念のもと、「好
奇心とチャレンジ精神に満ち、
自分の頭で考え、枠にとらわ
れない教育」を通して、一人
でも多くのイノベーターを育
てる教育を目指してまいりま
すので、よろしくお願いいた
します。

町立病院より



肝付町立病院 院長 菰方輝夫

新年あけましておめでとう
ございます。
日頃より肝付町立病院の運
営にご理解とご協力をいただ
き、心より感謝申し上げます。
私たちの病院は、町民の皆
さまにとって「困ったときに
必ず頼れる場所」でありたい
と考えています。体調が少し
気になるときや、どこを受診
すればよいか迷ったときで
も、まずは当院にご相談いた
だければと思います。今年も
その思いを大切にしながら、
安心して受診できる病院づく
りに努めてまいります。
医療については、365日、
急患の方に対して24時間対応
いたします。風邪や生活習慣
病などの身近な病気をしっか

り診ることはもちろん、内視
鏡や、CT超音波などの検査
も町内で受けられるよう体制
を整えています。大きな病院
で治療を終えた後、すぐに自
宅に戻るのが不安な方には、
当院で少し体調を整えてから
帰っていただくような支援も
行っています。また、必要な
ときは、最適な病院へ速やか
に紹介し、安心して治療が受
けられるようお手伝いいたし
ます。
病院に来ることが難しい方
には、居宅や介護施設への訪
問診療を広げています。ご家
族の介護負担を少しでも軽く
できるよう、一時的な患者さ
んの入院も続けてまいりま
す。診療科は、内科、外科、
総合診療、放射線診断、循環
器科、整形外科、眼科、もの

忘れ外来など、幅広く対応し
ています。
また、地域の集まりでの健
康相談や、健診後のご相談に
も気軽に参加いただけるよ
う取り組んでいます。肝付町
役場の皆さまや地域包括支援
センターとも協力しながら、
「町民の皆様が安心できる暮
らし」を支える病院として歩
み続けます。
肝付町の医療は、医療機関
だけではなく、いろいろな職
種の方々や地域の皆さま一人
ひとりのお力があってこそ成
り立っています。今年も皆さ
まと共に、安心して暮らせる
町をつくっていただければと思
っています。
本年もどうぞよろしくお願い
いたします。